

僕は、人生で初めて見た議会で分かったり、思ったりしたことがあります。

まず、議会とは、その町への熱い思いが無かったら成り立たないということが分かりました。なぜなら、坂町の議員は静かな部屋の中で全員真けんな表情をしていて質疑応答をしていたので、僕は議員さん一人一人のこの町への思いがあるから議会が成り立っていると思いました。

また、議会ではこの町の状況や将来どうなるかなどの情報をうそを交えずにそのまま言うので、一番信頼できることが分かりました。メディアの情報では、誤りがあったり、うその情報があったりとするのですが、議会では率直に言うので信頼できると思いました。そのおかげで、この町の状況や将来について初めて知ったこともありました。

僕は、今回の議会傍聴で政治のことについて興味を持ち、率直に言う議員を見習おうと思いました。

ぼくは、議会傍聴を体験してみて、思ったことがあります。

1つ目は、小屋浦のことについてです。議会を見てみて、小屋浦のお話がありました。それは、小屋浦のにぎわいと人口が減っていくということです。その解決策として、二地のあま、っている所に施設を建てたり、道を広げたりするとよいと思いました。

2つ目は、議員さんのことについてです。ぼくは、議会を見てみて、とても勉強になりました。それは、返事の声や、とても大きいことです。ぼくは、その返事を聞いて、これから生活に生かしていきたいと思います。もう一つは、質問がだされてからすぐに答えることです。ぼくは、質問されてからすぐ答えることが苦手なので、議員さんを見て、ぼくもまねをしたいと思います。

このように、今日学んだことを生かして、中学校生活をがんばっていききたいと思います。

ぼくは、議会傍聴で思ったことが、二つあります。

一つ目は、町長さんや議員さんの熱い思いです。みんなしかりとした声で話していてとても熱意がこもっていて、坂町をよりよい町にしたい、ということが感じられたからです。

二つ目は、追加の質問をすぐに作って、発言するところです。質問のしかたもすぐて、ぼくにはまねできないと思いました。

ぼくは、議会傍聴を体験して、町長さんや議員さんは、坂町や、坂町の未来のために、一生けん命が人ば、てくたさ、ていこうとすることを知れたので、ぼくもその分が人ばりたいと思いました。

これから、議会傍聴で学んだ話や、感じた熱意、議員さんや、町長さんの坂町を発展させていきなり、という思いを大切にして、未来は向か、て進んでいきたいと思います。

私は、議会傍聴を体験して、心に残った事は、二つあります。

1つ目は、町田町長さんが発表した、選挙公約として、「これから取り組む施策」という8つの施策の事です。私は、目標に向か、て頑張ることが得意ではないので、8つその施策をきいて、発表された町田町長さんを尊敬したいと思いました。

2つ目は、ミライロIDの導入についてです。私は、議会傍聴を体験するまで、ミライロIDの存在を知らなかった。なので、ミライロIDが、体にも、心にも障害がある人の役に立つアプリということに気づきました。ミライロIDがたくさんの人の役に立つことを願っています。

他にも、若年無業者の支援の話など、私が知らないことを学べたことと、坂町の町民のために何をしたいか、何をしたいか悩まなければならぬ、考えるきっかけになりました。これから考えたいです。

傍聴記

小屋浦小学校6年生



私は、議会傍聴を体験して考えたことが二つあります。

1つ目は、若年無業者についてです。総務省の調査では、全国で9万人もいるらしいです。しかし、若年無業者にもさまざまなバリエーションがあります。その一つ一つに対応するのは、とても難しいけれど、職はなれを止めるために大切な人だろうな、と思いました。

2つ目は、私の知らないところで町の政治が行われていることです。私は社会の授業でしか政治について考えることがありませんでした。しかし、議会では坂町の政治についてたくさん話していたので、私も聞いて考えることができました。議員一人一人考え方が違うことに気づきました。

最後に、私は大人にな、たら選挙に行こうと思っています。そのために、中学生になってもこの体験を忘れず、話合いを必ず生かしていこうと思います。そして、坂町のためにできることをしていきたいです。

ぼくは、議会傍聴を体験してみて、思ったことが二つあります。

1つ目は、質問された時にすぐに答えるところです。ぼくたち6年生は、質問されると答えるのがおそくて、長い時は、約1分間の沈黙が続くことがあります。だから、議員のみなさんは、すぐに質問に対して、答えているのがすごいなと思いました。そして、その答えが明確で分かりやすいのも衝撃でした。

2つ目は、町民のことをすごく考えているということです。安心安全で住みたい町、住み続けたい町にしたいと言っていました。町民の気持ちを考えていないと、このような言葉は言えないと思います。ぼくたちも、住み続けたい町、住み続けたい町にできるように、ポイントなどをめたり、地域の方にあいさつをしたりして、坂町をきれいで、明るい町にしていきたいです。

この体験を生かし、18才にな、たら、選挙に参加し、社会の担い手になりたいです。